

五位組だよりの歩み

珉照寺 住職 山岸智史



第1号から最新号まで

2026年
（令和8年）
5月21日

五位組だより

念仏のこころに生きる生活を

浄土真宗本願寺派
高岡教区 五位組
題字・織田隆夫

この五位組組報「五位組だより」の第1号が発行されたのは、2010年9月1日でした。

そのきっかけは、五位組門徒推進員協議会の発足にあります。五位組は高岡教区内でも早い段階で連研（門徒推進員養成連続研修）が開催されており、数十名の門徒推進員がおられました。その協議会はありませんでした。そこで、是非とも門徒推進員の方々にも組活動に参画してもらいたいとの思いから、五位組門徒推進員協議会が発足されたのです。そして、その門徒推進員の方々から「せっかく協議会ができたわけだから、私たちが主体となって何かをしたい」という声がありました。当時担当だった私が色々と相談させていただき、「五位組地域全体に五位組や組内寺院の活動、そして仏教のメッセージを伝えていこう」という思いから、組報「五位組だより」がスタートすることになりました。

当時から年2回発行しており、毎回みんなで編集会議や原稿のチェックをして

おりました。特に今年4月にご往生された山下義彦さんはパソコンの扱いに長けており、編集等の作業では大変お世話になりました。

また、組報を始めてすぐの頃、東日本大震災が起こりました。五位組では早い段階から現地へ向かい支援活動をしておりましたが、その活動についても組報で報告させていただきました。色々な反響もありましたが、それらを受けて悩み模索しながら発行していたことが強く残っております。

そして、担当も私から引き継がれていく中で、組報も白黒からカラーへ変更されるなど、より読みやすくなりました。しかし、「五位組地域全体に五位組や組内寺院の活動、そして仏教のメッセージを伝えていこう」というテーマは変わっておりません。人と人との繋がりが薄れてきている現代だからこそ、組報を通してメッセージを伝えていくことは大切だと思います。これからもより力強くメッセージを発信することを願っております。

住職インタビュー

石堤 長光寺

織田隆夫 さん



①最近ハマっていることは？

古城公園を散歩すること。
昔、友とよく遊んだ古城公園を独りで歩き回っています。

②お坊さんになってからの失敗談

失敗やら勘違いだらけの人生でしたが、門信徒の皆さんから「住職」と呼ばれ自分を奮い立たせ今日まで生きてきました。

③新米僧侶の頃の自分に一言

「独生独死独去独来」※『仏説無量寿経』より
「犀の角のようにならば独り歩め」※『原始仏典』より

④その心は何でしょう？

インドの広大な大地をサイは孤独に歩いているように見えます。しかしサイは目に見えない多くの縁によって生かされていることを知っています。その中で稀な出会いもあり、それも深いご縁でありました。いつ切れるか判らないご縁の中で私は生きています。だからこそ生命をかけて今を大切に生きようと如来は伝えてくださいました。
現代はAIの時代です。尋ねればすぐに一律の答えが返ってきます。しかし、私たちが何を見て、何を聞いて、どう判断し、行動するのかを決めるのは自分自身です。自分で決め・立つて・歩き始めなければなりません。大地のサイのよう。その時、何を抛り所にするのかを如来に尋ねる人生を歩みたいのです。

仏教語アラカルト

教願寺 前住職 岡西法英

その⑩
念仏

念仏といえは、仏を念ずることであるというわけで、阿弥陀如来のお姿を心に思い浮かべる「観相の念仏」、阿弥陀如来のお心を思う「観念の念仏」ということも言われた時代がありました。しかし、中国唐代初めに善導大師が、「念仏とは、阿弥陀如来の名号をとなえることであり、一念・十念とは、一声・十声ということである」と、明確に示され、親鸞聖人の師匠であった法然聖人が、これを説き広められたので、「念仏とは、南無阿弥陀仏」となえることである」ということが、常識となってきました。

さらに、その教えを受け継

がれた親鸞聖人は、「弥陀の尊号となへつつ 信樂まことにうるひとは 憶念の心つねにして 仏恩報ずるおもひあり」とご和讃にお示しになつて、南無阿弥陀仏をとなえさせて頂くことは、へこの私を救わずにはおかぬから南無阿弥陀仏をとなえよ」という阿弥陀様のお慈悲を喜んで、ありがたや、とうとやと、報恩の思いからとなえさせて頂くのであるとお示しになっていきます。



お講の年間日程

平等講

一座 14時〜

初御講 3月25日 広済寺
 報恩講 5月25日 西福寺
 降誕講 6月21日 善教寺
 本山講 8月25日 教願寺
 助成会・追悼会 11月25日 永念寺

二十五日講
 一座 9時半又は13時半〜

初御講 3月25日 西光寺
 助成会 6月27日 性宗寺
 報恩講 10月上旬 法善寺

両講合同夏期講座

日程 8月上旬
 場所 長光寺
 懇親会 未定
 講師 未定
 主催 平等講・二十五日講

祠堂経法座ご案内

各寺院の祠堂経法座の日程をお知らせします。 ※日程は変更になる場合があります。

詳細は各寺院にお問い合わせください

佐加野 光明寺
 3月17日 朝 9時半
 3月18日 朝 9時半
 3月19日 朝 9時半
 法話 高岡市伏木
 山名 一徳 師他

笹川 広済寺
 6月5日 昼 13時半
 6月6日 昼 13時半
 法話 高岡市内島
 岡西 好持 師他

麻生谷 西光寺
 6月12日 朝 9時半 昼 13時半
 6月13日 朝 9時半 昼 13時半
 法話 氷見市布施
 圓山 望 師

上向田 浄永寺
 6月20日 9時半 昼 13時半
 法話 高岡市内島
 岡西 好持 師

内島 教願寺
 6月26日 昼 13時半
 6月27日 朝 9時半
 法話 小矢部市興法寺
 立川 証 師他

赤丸 性宗寺
 6月27日 昼 13時半
 法話 福岡町福岡新
 新原 忠男 師

石堤 長光寺
 7月1日 朝 9時半 昼 13時半
 7月2日 朝 9時半 昼 13時半
 法話 氷見市脇
 寺西 良夫 師他

三日市 光源寺
 7月9日 昼 13時半
 7月10日 昼 13時半
 法話 福岡町土屋
 山岸 智史 師

山岸 珉照寺
 7月6日 朝 10時
 7月7日 朝 10時
 法話 未定

辻 西福寺
 7月中旬
 法話 未定

四日市 浄明寺
 秋の報恩講の際にお勤めします。

石堤 法善寺
 秋の報恩講の際にお勤めします。

舞谷 永賢寺
 秋の報恩講の際にお勤めします。

立野 永念寺
 未定

黎明講座ご案内

各寺院の黎明講座の日程を
お知らせします。

山岸 珉照寺
7月5日 朝 5時30分

笹川 広濟寺
7月31日 朝 5時30分
8月1日 朝 5時30分

石堤 長光寺
8月1日 朝 5時30分
8月2日 朝 5時30分

内島 教願寺
8月13日 朝 6時
8月14日 朝 6時
8月15日 朝 6時

五位組 行事予定

第25回 五位組

夏休み子ども大会

日程 今夏予定
場所 西福寺

蓮門会

テーマ「御文章の解説」
講師 岡西 法英 師

研修会日程(曜日)・時間・場所

4月5日(日)	15時	西光寺
5月3日(日)	16時	浄明寺
6月7日(日)	16時	善教寺
7月5日(日)	17時	光明寺
10月4日(日)	16時	広濟寺
2027(令和9)年		
2月7日(日)	15時	教願寺

※一回あたり千円での受講もできます。

編集後記

日が沈む時間も次第に遅くなり、あたたかな風が新緑の木々を揺らす、心地よい季節となつてまいりました。これからは、少しずつ雨の降る日も増え、湿度が高まり、蛙や虫たち、そして大地が潤う季節となります。皆さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

私は過ぎ去った時間を振り返ることが多くなりました。幼少期や学生時代、あの人が生きていた時の事。振り返ってみますと、今この記事をかいている「私」は、この記事を読んでいる「あなた」は、これまでの数多くの縁の一つでも欠けていれば存在し得なかつたであろう「私」であり「あなた」である様に思います。そんな世の中に私たちは生きています。

組報の発行に関わっておられるすべての皆さまに、心より感謝しあげます。誠にありがとうございました。